

事務事業評価の評価結果について（平成26年度の事業に対する評価）

久居総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

| 課等名      | 中事業名                       | 事業の目的  | 成果指標（平成26年度）              |   |          |          |                                   | 事業の評価  |    | 所管課長等による評価   |                 |  |
|----------|----------------------------|--|---------------------------|---|----------|----------|-----------------------------------|--|----|--|-----------------|--|
|          |                            |  | 指標名                       | 指標設定の考え方  | 目標値      | 実績値      | 数値以外の目標                           | 目標に対する実績等の分析   | 評価 | 所見   | 平成27年度以降の事業の方向性 | 所見   |
| 久居・地域振興課 | 地域かがやきプログラム事業（久居総合支所）中部エリア | <p>中部エリアでは、温泉や農業など中部エリアの地域資源を磨き上げ、観光資源として活用するとともに、農産物の高付加価値化による地域の活性化、さらに交流を求めている賑わいなど地域力を養うため、“みのり”と“ぬくもり”の郷づくりを目指します。</p> <p>久居地域では、総合計画で「レクリエーション拠点」として位置づけられた「榊原温泉」、「青山高原」を中心とした地域の活性化に取り組むとともに、当該エリア内の新たな地域資源を掘り起こすための新規事業について検討していきます。</p> | 榊原温泉年間入込み客数               | 津市総合計画では、中部エリアの中でも榊原温泉を「レクリエーション拠点」と位置づけており、年間を通じた観光客誘致事業、来訪者と地域住民の交流を目的とした地域振興イベントなどにより榊原温泉利用客の増加を目指すことから、上記を成果指標とします。 | 400,000人 | 319,390人 |                                   | 入込客数の減少については、一部温泉施設の未集計によることと、昨年度式年遷宮による効果の反動及び、近年の温泉施設の相次ぐ廃業により、温泉入込客数が減少しました。  | 3  | 「湯の瀬フラワーガーデン整備事業」をはじめとする榊原地域での各種事業を通して、豊かな景観形成や来訪者と地域住民の交流を行うことで、温泉リフレッシュゾーンの魅力アップに寄与しました。 | 拡充・充実           | 中部エリアの将来像である「みのり」と「ぬくもり」の郷づくりを目指し、既存の事業を含め、複数の事業を組み合わせ再編するなど、多面的に考えることで更なる拡充を図るとともに、地域をまたいだエリア内での連携や情報共有の強化が必要と考えます。 |
| 久居・地域振興課 | 地域かがやきプログラム事業（久居総合支所）東部エリア | <p>東部エリアでは、市の政治、文化、経済の中心的エリアとして、「知」の情報を様々な機会を通じて発信できる拠点づくりや、市民、企業、大学等高等教育機関との連携による地域を担う人材育成と地域連携による交流のまちづくりを目指します。</p> <p>久居地域では、東部エリアを構成する一地域として、上記エリア目標に沿った、東部エリア各プログラムに位置づけされる事業を実施するとともに新規事業の検討を行いながら、特に地域を担う人づくりや地域連携による交流の促進を目指します。</p>    | 拠点を活かした地域づくりや地域連携による交流の推進 | 久居地域は東部エリアを構成する一地域として、特に拠点を活かした地域づくりや地域連携による交流の推進を目指すことから、上記を成果指標とします。  |          |          | 主に拠点を活かした地域づくりや地域連携による交流の推進を図ります。 | 実施した2事業については、目標値であるイベント来場者を達成できました。  | 3  | 「久居まつり事業」、「サマーフェスティバル」は、レクリエーションを通じた生きがいづくりや久居周辺での賑わい創出に寄与しました。                            | 拡充・充実           | 東部エリアの将来像である「キラリと輝く人づくり・まちづくり」を目指し、既存事業は更に拡充を図るとともに、地域を担うひとづくりの促進が必要と考えます。   |
| 久居・地域振興課 | 地域インフラ維持事業（久居総合支所）         | <p>住民生活に密着した地域要望等に即答・即応するため、道路、河川及び交通安全施設等、地域インフラの維持修繕に対し、総合支所長の権限でフレキシブルに即時対応することを目的とします。</p>   | 地域要望の迅速な対応                | 地域要望への対応であることから、数値目標の設定は困難であるため、迅速に地域要望に対応するよう努めます。   |          |          | 地域要望への迅速な対応                       | 要望をいただいてから、概ね30日以内には対応、回答するように努め、ほとんどの地域要望の対応について達成することができました。<br>また、当課で対応できない案件については工事事務所等関係部局と調整を行いました。<br>今後、より迅速な対応を図るためには事業取組体制の見直しが必要です。 | 3  | 地域からの要望について、概ね対応できていますが、対象事業費規模により修繕対応できない案件については、建設部津南工事事務所との調整が必要です。                     | 見直し             | 地域からの要望について即答即応するためには、専属の担当職員の配置が必要であり、人員配置等含めた事業取組体制の見直しが必要です。  |

久居総合支所

評価：4=できている 3=概ねできている 2=課題克服が必要 1=未着手状況

| 課等名      | 中事業名                | 事業の目的  | 成果指標（平成26年度）                 |   |         |         |             | 事業の評価   |    | 所管課長等による評価  |                 |  |
|----------|---------------------|--|------------------------------|---|---------|---------|-------------|---|----|---|-----------------|--|
|          |                     |  | 指標名                          | 指標設定の考え方  | 目標値     | 実績値     | 数値以外の目標     | 目標に対する実績等の分析  | 評価 | 所見  | 平成27年度以降の事業の方向性 | 所見   |
| 久居・地域振興課 | 地域インフラ補修事業（久居総合支所）  | 住民生活に密着した地域要望等に即答・即応するため、道路、河川及び交通安全施設等、地域インフラの維持修繕に対し、総合支所長の権限でフレキシブルに当時対応することを目的とします。  | 地域要望の迅速な対応                   | 地域要望への対応であることから、数値目標の設定は困難であるため、迅速に地域要望に対応するよう努めます。             |         |         | 地域要望への迅速な対応 | 要望をいただいから、概ね30日以内には対応、回答するように努め、ほとんどの地域要望の対応について達成することができました。<br>また、当課で対応できない案件については工事事務所等関係部局と調整を行いました。<br>今後、より迅速な対応を図るためには事業取組体制の見直しが必要です。 | 3  | 地域からの要望について、概ね対応できていますが、対象事業費規模により修繕対応できない案件については、建設部津南工事事務所との調整が必要です。  | 見直し             | 地域からの要望について即答即応するためには、専属の担当職員の配置が必要であり、人員配置等を含めた事業取り組み体制の見直しが必要です。   |
| 久居・地域振興課 | 地域情報発信事業（久居総合支所）    | 久居地域の住民を対象として、地域イベント・地域活動団体の活動紹介・地域関連の行政情報など、身近で日常的かつ地域に根ざした情報を提供するため、ひさい地域だよりの発行を行います。  | 地域だよりの発行部数                   | 地域情報を提供するための手段の一つであり、「地域だよりの発行部数」を成果指標とします。                     | 64,000部 | 64,000部 |             | 目的を達成できました。   | 4  | 久居地域住民へ必要な地域情報を提供しました。  | 拡充・充実           | 発行回数、部数等は変更せずに、掲載内容を精査・検討することで、より充実した内容にしていきたいと考えます。   |
| 久居・地域振興課 | 出張所管理運営事業（久居総合支所）   | 高齢化率が高い地域であり、地域に密着した窓口業務を目指すとともに、地域コミュニティの拠点として、住みよい地域・環境づくりを推進します。                      | 両出張所の窓口における取扱件数と各施設の利用件数の合計数 | 地域の市民サービスの窓口としての施設であるため、両出張所における窓口取扱件数と各施設の利用件数の合計数を指標とします。     | 5,000件  | 4,464件  |             | 目標値を若干下回りましたが、おおむね目的を達成できたものと考えます。来所者、利用者の方に概ね満足いただけたと思います。   | 3  | 目標値よりも少ないものの、年間で利用件数は昨年度よりやや減少していますが、榊原農研研修所、久居農村婦人の家ともに施設利用件数、利用者数が増加していることから、車などの交通手段を持たない高齢者にとって市民生活の利便性を確保する上でなくてはならない施設です。 | 現状維持            | 今後も市民サービスの窓口として、戸籍・住民基本台帳等の交付事務、市税等の収納を行い、市民生活の利便性に供していきます。また、榊原農研研修所・久居農村婦人の家については、貸館業務を通して地域住民との交流を進めることにより、地域振興に寄与していきます。 |
| 久居・地域振興課 | 体育館管理運営事業（久居総合支所）   | スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを推進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。 | 利用者数                         | 市民のレクリエーションの振興及び体力増進を図り、健康で文化的な市民生活に寄与するための施設であるため、利用者数を指標とします。 | 50,000人 | 49,466人 |             | 目標値を僅かに下回りましたが、利用者が固定してきており、平日における昼間の使用効率を上げる必要があります。   | 3  | 津市スポーツ施設整備基本構想に基づく施設としての施設管理を行う必要があります。また、午前・夜間の利用者は多いものの、午後が少なく、利用者も固定している傾向にあるため、当該時間帯の利用者数の増を視野に対応策を検討していく必要があると考えます。        | 現状維持            | 施設の老朽化が進んでいますが、定期的な利用者があることから修繕対応を行いながら運営していきます。   |
| 久居・地域振興課 | グラウンド管理運営事業（久居総合支所） | スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを推進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。 | 利用回数                         | 市民のレクリエーションの振興及び体力増進を図り、健康で文化的な市民生活に寄与するための施設であるため、利用回数を指標とします。 | 290回    | 304回    |             | 目標値以上の実績値を得ることができ、所定の目的を達成することができました。施設管理者が常駐しておらず、目的外使用や無断使用がみられることから、適切な管理の在り方を検討していく必要があります。   | 3  | 津市スポーツ施設整備基本構想に基づく施設としての施設管理を行う必要があります。利用ニーズもあるため老朽化した施設を修繕を加えながら対応していく必要があります。   | 現状維持            | 廃止となった隣接する弓道場跡地を駐車場として活用し、利用者の利便性を高めてきています。利用ニーズもあるため老朽化した施設に修繕を加えながら対応していきます。   |

久居総合支所

評価：4=できている 3=概ねできている 2=課題克服が必要 1=未着手状況

| 課等名      | 中事業名                   | 事業の目的  | 成果指標（平成26年度） |   |          |          |         | 事業の評価  |    | 所管課長等による評価  |                 |   |
|----------|------------------------|--|--------------|---|----------|----------|---------|--|----|---|-----------------|---|
|          |                        |  | 指標名          | 指標設定の考え方  | 目標値      | 実績値      | 数値以外の目標 | 目標に対する実績等の分析   | 評価 | 所見  | 平成27年度以降の事業の方向性 | 所見  |
| 久居・地域振興課 | テニスコート管理運営事業(久居総合支所)   | スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。                 | 利用者数         | 市民のレクリエーションの振興及び体力増進を図り、健康で文化的な市民生活に寄与するための施設であるため、利用者数を指標とします。   | 30,000人  | 28,882人  |         | 夏期において、二度に渡る大型台風の襲来等天候不順に見舞われ、利用者数が減となりました。  | 3  | 施設の老朽化に対応して平成22年度にコート整備を行ったことにより、利用者数は順調に増加しています。   | 現状維持            | 照明等の老朽化が進んでいるうえ、維持管理を行い難い設備となっているため改修を検討していきます。   |
| 久居・地域振興課 | プール管理運営事業(久居総合支所)      | スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。                 | 利用者数         | 市民のレクリエーションの振興及び体力増進を図り、健康で文化的な市民生活に寄与するための施設であるため、利用者数を指標とします。   | 30,000人  | 23,974人  |         | 二度に渡る大型台風の襲来等、荒天、雷等による中止日が増加したため、利用人数が大幅な減となりました。  | 3  | 施設の性質上、天候により利用者数が大きく変動します。平成26年度営業終了後、大規模改修を実施したため、平成27年度においては、積極的なPR等に努め、利用者数の増加に努める必要があります。                               | 拡充・充実           | 平成26年度営業終了後、大規模改修を実施したため、平成27年度においては、積極的なPR等に努め、利用者数の増加を図っていきたく考えています。  |
| 久居・地域振興課 | その他運動施設管理運営事業(久居総合支所)  | スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。<br>(ゲートボール場)    | 利用者数         | 市民のレクリエーションの振興及び体力増進を図り、健康で文化的な市民生活に寄与するための施設であるため、利用者数(算定方法を変更)を指標とします。                                | 9,000人   | 10,214人  |         | 固定的な利用者を中心に、総合型地域スポーツクラブの参加者数、利用日数が増えたため、目標値を超える実績値を得ることができました。  | 3  | 固定的な利用者を中心に、総合型地域スポーツクラブの参加者数、利用日数が増えてきており、利用者数は増加傾向にあります。今後は、大会等の開催により更に利用者数を増やしていきます。                                     | 現状維持            | 津市スポーツ施設整備基本構想に沿った施設管理を行うと伴に、現状を維持していきます。   |
| 久居・地域振興課 | 久居駅東口駐車場維持管理事業(久居総合支所) | 久居駅及びポルタ久居等の利用者に対する利便性を高め、利用者数の増大を図ることによって駅周辺の活性化に繋げるとともに、駅周辺の駐車場需要に対応することにより、円滑な道路交通の確保及び駅周辺の交通安全を図ります。 | 駐車場利用台数      | 車での久居駅利用者に対する利便性を高めることで、駅周辺の駐車場需要に対応し、更に利用者数の増大を図ることで駅周辺の活性化に繋げることを目的とする施設であるため、駐車場を利用した延べ台数を指標とするものです。 | 82,000台  | 80,086台  |         | 平成25年度利用台数と比較して年間約0.1%の利用増、1日平均としては昨年並みの利用となりました。ガソリン代等の増減も落ち着き、昨年並みの駐車場利用となりました。  | 4  | 駅利用者及び駅周辺における駐車場需要に対応し、この地域の集客の促進を図りました。また、駅周辺における道路の効用保持と円滑な道路交通の確保を図ることができました。  | 現状維持            | 当駐車場は「久居駅東側周辺地区整備事業」による用地交換が行われるまでの間の暫定施設としての位置づけであるため、積極的な設備投資等が行いにくい状況にありますが、利用者が快適に当駐車場を利用できるよう適切な維持管理を行っていきます。<br>今後は、適切な維持管理のため、駐車券発行機及び全自動精算機の取替を平成27年度に行います。 |
| 久居・地域振興課 | 観光振興事業(久居総合支所)         | 日本三大名泉の一つである榊原温泉という観光資源を適切かつ有効に活用し、榊原温泉の発展に資するとともに、観光振興及び温泉利用施設の保護を目的として榊原温泉振興協会への補助金の交付を行います。           | 榊原温泉全体の利用客数  | 榊原温泉全体を対象とした事業であることから、榊原温泉全体の利用客数を指標とします。   | 400,000人 | 319,390人 |         | 伊勢神宮遷宮により入込客数を伸ばしたH25年に対し、前年比92.8%と減少していますが、おもてなし館を拠点とした「温泉を核とした地域づくり」や、「蛍灯」「ひな祭り」等のイベント開催により観光事業の低迷するなか、減少幅を現状にとどめています。<br>利用客数：<br>H26年319,390人（白雲荘集計不可につき未算入）<br>H25年344,225人（内白雲荘9,933人） | 2  | 全体的には入込客数は減少しているが、客数を増やしている施設もあることから各旅館における継続的な努力が必要であるが、温泉事業の低迷により今後入込客数を増加させることは厳しい状態です。泉質効能のPRの取組など新たなPRにより増加を図る必要があります。 | 見直し             | 旅館組合、地元自治会、若手グループと連携を取りながら、榊原地域をあげて、観光客誘致宣伝活動事業、観光誘客促進イベント事業及び温泉を核とした地域づくり事業を中心とした榊原温泉郷の発展を目指します。   |

久居総合支所

評価：4=できている 3=概ねできている 2=課題克服が必要 1=未着手状況

| 課等名      | 中事業名                      | 事業の目的   | 成果指標（平成26年度） |   |          |          |         | 事業の評価  |    | 所管課長等による評価  |                 |   |
|----------|---------------------------|---|--------------|---|----------|----------|---------|--|----|---|-----------------|---|
|          |                           |   | 指標名          | 指標設定の考え方  | 目標値      | 実績値      | 数値以外の目標 | 目標に対する実績等の分析   | 評価 | 所見  | 平成27年度以降の事業の方向性 | 所見  |
| 久居・地域振興課 | 榊原自然の森温泉保養館維持管理事業（久居総合支所） | 日本三名泉のひとつである榊原温泉という観光資源を適切かつ有効に活用し、湯を媒体としたコミュニティの推進とスポーツ・レクリエーション活動を通じた健康増進に取り組むことにより、市民生活の向上及び観光振興を図ります。                                 | 施設利用者数（のべ人数） | 市民生活の向上と観光振興に寄与するために設置された温泉施設等であることから利用者数（延べ人数）を指標とします。                           | 190,000人 | 168,485人 |         | 榊原温泉全体での入込客については、前年度比24,835人の減となっており、それに伴い、湯の瀬入館者についても減少となりました。          | 3  | 平成25年10月1日よりフロント、ボイラー管理及び清掃業務について、民間への一部業務委託を実施したことにより、市民サービス向上と経費削減が図れました。 | 現状維持            | 平成25年10月から2年6ヶ月の契約期間でフロント業務等主要な業務について、民間業者へ委託しており、平成27年度以降もさらなる経営改善に向け、収支等の検証を行います。 |
| 久居・地域振興課 | 観光施設維持管理事業（久居総合支所）        | 榊原温泉への利用客誘致を図るため、榊原周辺地域の自然歩道等の維持管理業務を行います。  | 榊原温泉全体の利用客数  | 榊原温泉全体を対象とした事業であることから、榊原温泉全体の利用客数を指標とします。   | 400,000人 | 319,390人 |         | 入込客数の減少につきましては、白雲荘の入込客数が未集計によることと、昨年度の式年遷宮による効果の反動及び観光業界全体の衰退の流れによるものです。 | 3  | 温泉PR看板等の充実並びに観光資源である自然歩道（榊原、東海）の適切な維持管理を行いました。                              | 拡充・充実           | 自然歩道を利用し易くするための環境整備を行うとともに、自然歩道の魅力や楽しみ方等の情報を発信することにより榊原温泉郷への集客に繋がります。               |
| 久居・福祉課   | 社会福祉事務所管理運営事業（久居総合支所）     | 久居総合支所福祉課における事務及び予算等の調整、久居地域の福祉事業の施行事務及び市単独事業の調整を行うことにより、効率的な事務執行及び円滑な事業の推進を図ります。   | 効率的な事務執行     | 事務事業の効率的な執行がコスト削減につながるため、上記の指標とします。   |          |          |         | 福祉課の円滑な運営ができました。   | 4  | 久居総合支所福祉課における事務及び予算等の調整、執行を適正に行い、効率的な事務執行及び円滑な事業の推進ができました。                  | 現状維持            | 事務及び予算等の調整、執行を適正に行うことにより、更なる効率的な事務執行及び円滑な事業推進を図ります。                                 |
| 久居・福祉課   | 社会福祉施設維持管理事業（久居総合支所）      | 津市久居総合福祉会館の維持管理運営事業<br>市民の福祉、文化教養及び体力の増進を図ることにより、健康で文化的な市民生活に寄与します。<br>・コミュニティ活動の場を提供する事業<br>・地域福祉活動及びボランティア活動事業<br>・教養の向上及びレクリエーションに係る事業 | 施設の利用者数      | 施設の管理運営についての成果は、多くの市民が利用していただき施設の設置目的である健康で文化的な市民生活に寄与することにあるため、当該施設の利用者数を指標とします。 | 80,000人  | 88,583人  |         | 目標値に達しており、当初の目的を達成できました。今後も市民の福祉、文化教養及び体力の増進を図るため、施設の整備等の充実を行います。        | 4  | 前年比で利用者人数も増加し、コミュニティ活動の場としての役割を果たしており、利用者の福祉、文化教養及び体力の増進を図るための事業推進ができました。   | 現状維持            | 引き続き効率的な施設の管理運営を行うとともに、老朽化による施設等の修繕を行いながら、利用者の快適環境の整備に努め、健康で文化的な市民生活に寄与します。         |
| 久居・生活課   | 会館、市民センター管理運営事業（久居総合支所）   | 立成コミュニティセンターについては、地域の自主的な活動を育成し、他地域との交流を図るとともに、地域のコミュニケーションの核となる施設として、様々な集会、会議等に利用することにより、文化の向上及び生涯学習の振興を図り、地域コミュニティの充実につなげていく。           | 利用件数         | 文化の向上及び生涯学習の振興を図り、地域社会の発展に寄与する施設であるため、利用件数を指標とします。                                | 50件      | 65件      |         | 各種団体の利用回数は目標値を大きく上回りました。自治会をはじめとする地域の各種団体数は前年並みであることから、コミュニティ活動としては有益です。 | 4  | 目標値を上回っており、当該施設が立成公民館との併設であることも踏まえ、地域のコミュニケーションの核となる施設としての機能を十分に発揮しています。    | 現状維持            | 地域のコミュニケーションの核となる施設としての機能を十分に発揮しているが、収容能力により手狭に感じられることもあることから、これ以上の拡充は難しく現状維持とします。  |

久居総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

| 課等名            | 中事業名                         | 事業の目的  | 成果指標（平成26年度）           |  |         |         |         | 事業の評価   |    | 所管課長等による評価   |                 |   |
|----------------|------------------------------|--|------------------------|--|---------|---------|---------|---|----|--|-----------------|---|
|                |                              |  | 指標名                    | 指標設定の考え方   | 目標値     | 実績値     | 数値以外の目標 | 目標に対する実績等の分析  | 評価 | 所見   | 平成27年度以降の事業の方向性 | 所見  |
| ポルタひさいふれあいセンター | ポルタひさいふれあいセンター管理運営事業（久居総合支所） | 休日、夜間の開所をすることにより、戸籍・住民票等の交付、市公共料金の収納を行い、市民の利便性の向上を図り、住みよい街づくりに貢献します。<br>当センターにおいて行う貸館事業は、市民の交流、情報共有の場、ふれあいの場、健康増進の場を提供することが主眼であり、このことにより地域の振興を図ることを目的とします。 | 窓口における取扱件数と施設の利用件数の合計数 | 市民サービスの窓口としての施設であるため、窓口取扱件数と施設の利用件数の合計数を利用者の満足度(利便性)の指標とします。 | 20,000件 | 28,666件 |         | 目標値を超えることができ、当初の目的を達成できました。来庁者、利用者の方に概ね満足をいただけたと思います。 | 4  | 平成27年1月、久居庁舎がポルタひさいへ移転したことに伴い、収納業務を除く窓口業務は減少したものの、休日・夜間の市民サービスの窓口として、戸籍・住民基本台帳等の交付事務、市税等の収納を行い、市民生活の利便性に供しています。また、貸館業務を通して、地域住民の交流と親睦に寄与しています。 | 現状維持            | 休日・夜間の各種証明書の交付、住民異動届の受付等窓口業務は、今後増加することが予想されることから、業務の効率化、職員の資質向上に努めるとともに、市民サービスの窓口及び貸館業務を通して、市民生活の利便性の向上や地域住民の交流・親睦に寄与します。 |